

お名前 ( 中西レモン )

習った芸能 ( 十一日町えんぶり組 )

### 1) 三陸の芸能を習ってみていかがでしたか？

今回は憧れのえんぶり体験の機会と言うこともあり、ドキドキしながらの参加でした。開始早々に模範演技が始まり、囃子の音がしたところですぐに舞い上がってしまいましたので、後のことは夢見心地と成りました。講座内では身振りを構成する基本的な動きを丁寧に繰り返してもらうのについていくのが精一杯で、その精一杯体験できたことが何よりも芸能体験の醍醐味ではなかったかとも思っており案ず。体験講座として、根幹をなす男性の舞と、子供たちが春の華やぎを演出する舞と言ったえんぶりの象徴的な二演目を体験できたこと、それに加え面白みをもったえびす舞の紹介がされたことなど、体験としてはぜひいたくな内容となっていたかと思えます。

### 2) 今回はオンラインでの芸能体験でしたが、率直にいかがでしたか？良かった点、困った点をお聞かせください。(応募、事前準備、受講のことなど)

オンライン講座は、主に参加者の方の問題として長時間化すると接続が不安定になりがちというのがあると思いますが、途中休憩で不安な人は再接続してもらうというのもアナウンスがあってもよいかもしれませんね。私の接続も割と順調だったのですが、通話しようとした時にちょっとオーディオ接続に不具合が出てしまいご迷惑をおかけいたしました。それはさておき、休憩中に漏れ聞こえた笛の手の確認の音声は、もうそれだけで伝承の現場に同席するような臨場感があり、とてもよい休憩時間でした。また、オンラインは台湾やアメリカなど、地域を越えてこうした芸能を体験できる利点があることが今回ご参加の面々からうかがわれ、素晴らしく思いました。と同時に、黒田さんのアシストに見られたような、通訳のフォローも一応ご留意されますと、よりこの取り組みの意義が開かれてゆくようにも思われました。

### 3) 受講をされて、ご自身のアーティスト活動において、どのような影響、意味があると思われましたか？

自身の活動にどのように今回の講座が影響し、意味を持っていくのかに関しては、まだ未知数です。しかし、今後八戸へうかがい、また他地域の芸能に関する調査や創作を考える上でも、そして庶民の歌や踊りを考える上でも貴重な体験であったことには違いありません。この体験を生かす上でも、八戸へお伺いできればと思っております。

4) 今後も三陸の郷土芸能を習いたい、通いたいと思われたときに、AIR以外にどのような方法や制度があると良いと思われますか？

オンラインでの体験講座は、広い地域の方への参加の窓として有効なものと思われます。また昨年度開催の滞在型も対象となる芸能団体との関係性や理解を深める上でより踏み込んだ講座だと思ひます。また、アーティストが郷土芸能団体と共同制作に入るには、受け入れ団体や参加アーティストの性格とも関係するとは思ひますが、場合によっては数年にわたっての交流を持ったうえで、はじめて踏み出せるケースもあろうかと思ひます。特定の芸能団体との関係づくりや創作に関する長期滞在型、若しくは一月月程度の滞在を数年単位で支援するような試みも展開されていくと、郷土芸能にまつわるアートシーンの問題提起や拡充にもつながるのではないかなとも思ひてるところです。

5) 上記以外にご意見や感想がございましたら、自由にお書きください。

こうした取り組みには、それぞれの地域で芸能団体さんへと交渉し、関係性を作ってゆかなければ実現されない点が多々あろうかと思ひます。また、地域の教育委員会が考える保存と継承の在り方とどの様に連携をとれるのかなど、ご苦勞も多々あろうことかと思ひます。しかし、少子化と過疎化、不況などが重なっている現在においては、特定地域内だけでの文化継承はほぼ無理な状態になりつつあるようにも思われます。その中で、アートと芸能を通して地域文化への新たなスポットライトが当たり、その継承への多角度的な関心が育まれる可能性ある企画として、今後も継続頂けると素晴らしいと思ひております。そして、今後とも勉強の機会がいただけます事を願ひつつ。

中西レモン

ぜひ、三陸の郷土芸能に会いに来てください。ご協力ありがとうございました。